

友だちの存在

プロジェクト名	大きいりす10月		
日付	2024年 10月 4日	記録者名	岡村
園児			
本日のねらい・内容	今日はかんだグランプリの会場である憩いの広場にお散歩に行きました！初めての場所な子も多いので、「こんなところだよ」という下見も兼ねて行きました。今日は大きいクラスさんも一緒に行くので、大きいさんはぱんだ組のお兄ちゃん・お姉ちゃんに手を繋いでもらい、とても嬉しそうに散歩に出発！！		



憩いの広場、とても広いのですがふと子どもたちを見ると数人の集団がいくつもできていました。思う存分走り回れるぐらい広いのに不思議と集まる子どもたち。



誰かが何かを見つけたり、捕まえたりすると「見せて～！」「なになに～？」と集まって、「見て見て～」とそこから話に花を咲かせています。なんとも微笑ましい光景です(^_^) 困っていたり、泣いていた時と同じで、「大丈夫？」と駆けつける友だち思いな大きいりすさんです。



友だちを意識して、友だちのしていることに興味を持ち、真似をする姿が見られるこの時期ならではの姿だと思います。ご家庭でも園での話をする時に友だちの名前が出てくるが増えてきているのではないのでしょうか？また子どもたちから園での話を聞いてみてください。

成長の視点	
今後の展開	